

## 生活習慣病対策の推進

### 【現状と課題】

高齢化に伴い、今後、生活習慣病患者の更なる増加が懸念されています。3大死因について、秩父圏域と全県を高齢化の影響を調整して死亡率を比較しても、悪性新生物は下回っている一方で、心疾患及び脳血管疾患では上回っている（下表参照）ことから、生活習慣病の予防と重症化防止が当圏域の課題であることが分かります。特に医療費適正化の観点からも、慢性腎臓病（CKD）等の重症化防止は重要な課題です。健康寿命の延伸につなげていくためにも、生涯を通じた生活習慣病対策を進めていくことが求められます。

対策の推進に当たっては、健診やレセプト等のデータを活用して効果的・効率的にアプローチすることで事業の実効性を高めていくことが求められています。データヘルス計画を活用した健康づくりを推進することが必要です。

また、歯科口腔では、歯・口腔と全身の健康との関連性が指摘されており、ライフステージに沿ったきめ細やかな歯科保健サービスの提供が求められています。

標準化死亡比(平成 23 年～27 年)

(基準集団:埼玉県 100)

	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
総数	95.5	103.3	111.0

資料:埼玉県の年齢調整死亡率とSMR算出ソフト「スマール君」

### 【施策の方向（目標）】

生活習慣病患者の増加に対応するため、関係機関の多職種連携を進め、生活習慣病の予防と重症化防止対策、歯科口腔保健対策等を推進します。また、対策の推進に当たっては、健診やレセプト等のデータを活用します。

### 【主な取組及び内容】

#### ■生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

特定健診やがん検診の受診率向上を図り、効果的な保健指導を実施し、生活習慣病予防を徹底します。また、糖尿病や高血圧など生活習慣病の疾病管理や、CKDの早期発見・早期治療による重症化防止対策を推進します。

〈実施主体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、地域活動栄養士、医療保険者、市町、保健所〉

### ■データヘルス計画を活用した健康づくりの推進

医療保険者の持つ健診やレセプト等のデータを活用し、被保険者の健康課題に合わせた効率的で効果の高い保健事業を実施します。

〈実施主体：市町、医療保険者、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、地域活動栄養士、保健所〉

### ■歯科口腔保健対策の推進

在宅・休日歯科診療や医科歯科連携など、歯と口腔の健康維持・向上に取り組み、生涯を通じた歯科口腔保健対策を推進します。

〈実施主体：歯科医師会、医師会、薬剤師会、医療機関、市町、保健所〉